

科目名	公衆栄養学 I					開講 キャンパス	神 埼
担当者	船 元 智 子						
開講年次	2	開講期	後期	単位数	2	必修・選択	必 修
授業の概要 及びねらい	公衆栄養学は、個人または地域集団の栄養・健康・QOLの改善・向上に資するための健康・栄養に関する実践科学である。P D C Aサイクルによる公衆栄養マネジメントに必要な知識と技術に関する基礎を築くことをねらいとする。						
授業の 到達目標	①公衆栄養学の意義、目的を説明できる。 ②健康・栄養関連情報やデータの収集ができる。 ③わが国の健康・栄養・食料問題の現状と課題について概説できる。 ④公衆栄養行政の沿革、組織と施策について概説できる。 ⑤公衆栄養関連法規・制度について概説できる。 ⑥行政管理栄養士活動について説明できる。 ⑦健康日本21の策定の背景と概要を説明できる。 ⑧食事バランスガイドの策定の背景と活用が説明できる。 ⑨日本人の食事摂取基準の個人・集団の活用について概説できる。 ⑩諸外国の栄養状況と施策について概説できる。						
学習方法	講義						
テキスト及 び参考書等	テキスト：四訂公衆栄養学（建帛社） 栄養調理六法（新日本法規） 参考図書：日本人の食事摂取基準2010						
評価基準・方法	到達目標					評価割合%	
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験	◎	◎				80	
小テスト等	◎	◎				10	
宿題・授業外レポート	◎	◎	◎			10	
授業態度							
受講者の発表							
授業への参加度							
その他							
合計						100	
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
<b>授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）</b>							
第1週	オリエンテーション、健康・栄養情報の収集・分析（健康・栄養関連資料のデータ収集）						
第2週	公衆栄養学の概念（公衆栄養の意義、目的、沿革）						
第3週	健康・栄養問題の現状と課題（高齢社会と健康）						
第4週	健康・栄養問題の現状と課題（健康状態の変化）						
第5週	健康・栄養問題の現状と課題（食事・食生活の変化）						
第6週	健康・栄養問題の現状と課題（食環境の変化）						
第7週	栄養政策（公衆栄養活動の歴史、管理栄養士・栄養士制度）						
第8週	栄養政策（国民健康・栄養調査）						
第9週	栄養政策（各種健康・栄養関連指針）						
第10週	健康日本21と地方計画						
第11週	食事バランスガイドと食育						
第12週	日本人の食事摂取基準（個人・集団の食事改善）						
第13週	諸外国の健康・栄養問題の現状と課題						
第14週	諸外国の健康・栄養政策						
第15週	総まとめ						
第16週	試験						
備考	事前事後学習については授業ごとに指示を行う。						